

大阪高体連発第9号
大阪高体連登山部発第2号
令和4年4月1日

高等学校長様
登山部顧問様

大阪高等学校体育連盟
会長 浅川又一
登山部長 内田正俊
(公印省略)

第76回大阪高校春季登山大会兼第66回全国高校登山大会予選兼第77回大阪高等学校総合体育 大会登山部門について

1. 趣旨 高校登山部の生徒が楽しく安全に山行や合宿を行うには、体力・歩行・読図・
幕営・天気図・装備・知識・計画書・救急法などの技術・技量が必要である。本
大会は、そのような技術・技量をどの程度修得しているか、どこをどう鍛え学ん
でいいかを各生徒自身が知り、各校の日ごろの活動に生かしてもらえるよ
うに企画したものである。

また、岩登りの講習を実施するのは、夏の日本アルプスなどの一般コースに
も若干存在する岩場を安全確実に通過するためにバランスとリズムを体得させ
ようとするためである。またロープ(ザイル)類の使用に習熟することは事故
防止にも役立つ点が多い。

2. 期日・会場 令和4年5月7日(土)~8日(日)

大阪府立少年自然の家および和泉葛城山系(雨天決行)

令和4年6月5日(日)

兵庫県奥宝塚蓬萊峡(雨天決行)

3. 日程
5月7日 13:30~ 受付(永楽ダムサイト)
14:00~ 出発(パーティー行動)
15:30~ 開会式・諸連絡
16:00~ 常識テスト・天気図作成
16:20~ 幕営審査
19:30~ 耐久歩行コース発表・説明(地図およびメモを配布)
21:00~ 消灯・就寝
5月8日 4:30~ 起床・朝食
6:00~ 耐久歩行(チーム行動・サブザック行動)
14:00~ 講評、諸連絡 解散(少年自然の家)
6月5日 8:20~ 受付(蓬萊峡砂場)
9:00~ 開会式
9:30~ 岩登り講習
岩場通過審査(選手のみ)
15:00~ 閉会式(講評、表彰)諸連絡 解散

4. 参加形態 (1)選手……1チーム4名。1校につき男女各1チーム以内。

(2)オープン……選手と同じ行動をとる。

採点はするが、順位はつけない。

1チームは2~5名。男女別とする。

1チームにつき、テントは1張りとする。

(3)一般……選手、オープンと別行動をとる。教員・指導者が付き添うこと。
人数制限なし。

5. 申込み 大阪高体連登山部のWEBページより、エントリー用Excelシートをダウンロードして必要事項を入力し、ファイル名に校名をつけて保存した後、下記のメールアドレスに添付して送信する。同時にファイル内の「印刷」シートを印刷して日付記入と、公印捺印の上4月27日(水)必着で、下記に送ること。

登山部 URL : <http://osakatozan.web.fc2.com/>

エントリー用メール : osakatozan@yahoo.co.jp

〒587-0051 堺市美原区北余部595-1 (府立学校は通常可)

大阪府立農芸高等学校 片岡拓也 TEL 072-361-0581 FAX 072-361-0684

6. 参加費 (1)前半部 選手・オープンとも、1チームにつき1000円

また、施設利用料等1人1500円(傷害保険料を含む)を別途徴収する。

後半部 1000円/人 保険料300円/人

(2)選手は、大阪高体連選手登録費(400円/人)が別途必要である。

7. 参加資格 (1)選手・オープン・一般参加者とも、令和4年度に大阪高体連登山部に加盟予定の学校の登山部生徒で、各学校の健康診断に異常がなく、校長が参加を適当と認めた者。

(2)選手は日本山岳スポーツクライミング協会(JMSCA)に選手登録している者。

(3)選手は原則として1年生を除く。

(4)府立学校再編に関わる学校においては、当該の2校または3校での合同チームで参加を申し込むことができる。ただし、この場合、参加申込書には、合同チームを構成する全ての校長の印を捺し、付添教員・責任者および参加生徒の所属校を明記すること。

8. その他 (1)後半部(蓬萊峡)の詳細については、後日連絡する。

(2)一般参加者は人数を制限しないが、選手・オープンと別行動とする。

(3)宿泊は少年自然の家とする。幕営審査を行うのでテントは持参すること。付添教員は、選手・オープン・一般参加者と別室が用意される。登山は一般参加者とともに行動する。

(4)付添教員・責任者に食事を用意するので、希望者はその旨を申込書に記入すること。施設利用等とは別に食費2500円。

(5)大会用地形図は、2万5千分の1地形図の必要部分をコピーしたものを当日配布する。

(6)各自寝具(シュラフ)等を準備すること。

(7)食事はすべてレトルト食品を使用し、調理が必要なものは禁止する。

(お湯等は、各校で準備すること)

必要なカロリーに留意すること。ガソリン、まきの使用を禁止する。

(8)個人負荷重量は規定しない。

(9)府立高校については、学校管理規則による「宿泊を伴う教育活動」の届を各校において4月20日(水)までに教育庁教育振興室高等学校課へ提出すること。

(10)この春季登山大会の成績は、9月に行われる近畿登山大会の出場校選考の資料とする。

(11)健康チェックカードを提出すること。

(12)読図点の記入は黒色ボールペンを使用すること。(各自準備すること)

(13)常識テストは屋外で実施するので、下敷き等を持参すること。

(14)ゼッケン(縦10cm横20cm、学校名・班記入)をサブザック中央につけること。

<特記事項>新型コロナウイルス感染症対策【裏面参照】

※問い合わせ先 大阪府立農芸高等学校 片岡 拓也

TEL 072-361-0581 FAX 072-361-0684

新型コロナウイルス感染症対策

- (1)新型コロナウイルス感染の徴候がないか、大会2週間前より体温測定、咳、咽頭痛、倦怠感、感染者との濃厚接触の有無を記録し提出すること。提出がない場合は、参加出来ない。記録用紙は、Webページよりダウンロードすること。
- (2)大会当日、マスク着用の確認、体温測定、健康チェックを行う。
- (3)体温測定、健康チェック時に次の症状がある場合、参加を禁止する。
 - ① 発熱（37.5°C以上）、体調が良くない（発熱、咳、咽頭痛の症状が続いている）
 - ② 同居家族や身近な知人に感染が疑われる。
 - ③ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察を必要とされる国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。
- (4)マスクは各自持参し、必要に応じて着用すること。
- (5)大会参加中は、ソーシャルディスタンスに留意すること。
- (6)飲食物を共用しない。また、装備についても留意すること。
- (7)可能な場面では手洗いを励行するほか、アルコール消毒剤など必要装備を持参すること。

装備品についての注意事項

1 サブザック（個人装備）

携行品全てが完全に収納できること。

ザックの外に荷物がはみ出したり、ぶら下げることがないようにする。

※必ずゼッケンをつけること。

2 雨具（個人装備）

風雨でも行動ができるようにセパレートタイプのカッパにすること。傘のみは不可。

3 防寒着（個人装備）

濡れても保温性が保たれること。（ウールのセータ、化繊のフリースなど）

濡れ防止の対策が施されること。（レジ袋等でのパッキングは不可）

一枚生地のウインドブレーカー、綿素材、雨具との兼用は不可。

4 非常食（個人装備）

一般食料・行動食とは区別すること。（非常食は、行動食とは別に小分けにする）

できるだけカロリーが高く、加熱せず、水が無くても食べられること。

※チョコレート、蜂蜜、コンデンスマルクなど

5 水（個人装備）

行動中に十分に摂取できる量に加えて、非常用の水を確保しておくこと。

6 ライト（個人装備）

不要に電源が入らぬよう配慮すること。

ライトを使用して歩行時に、両手が空くこと。

7 医薬品（団体装備）・ツエルト

応急処置で必要な物を吟味し、できるだけコンパクトにまとめること。

期限切れの薬品や、汚染された医薬品は携行しない。

使用方法について全員がわかるようにすること。

8 その他

審査対象の装備は、最低限の携行品である。山行に必要な装備（必要な地図、行動食、服装等）は、各パーティで判断し持参すること。また、全ての携行品について、必要な防水、防塵対策を施すこと。